

## Contents

- 1) 学会からのお知らせ
- 2) 健康心理学コラム vol. 71 黒田祐二 (福井県立大学)

### 1) 学会からのお知らせ

#### ■年会費督促のお知らせ (財務委員会より)

今年度の年会費をまだ頂いていない会員の方あてに、督促のお知らせをお送りさせていただきました。今年度も半ばを過ぎ、大会開催や研修や雑誌編集など、貴重な会費による今年度の活動が進行しています。学会活動は会費なしには成り立ちません。どうぞ一日も早い納入をお願いいたします。

### 2) 健康心理学コラム Vol. 71

「ストレスとうつとの関係」  
黒田祐二 (福井県立大学)

ストレスとうつとの関係については、古くから研究がおこなわれてきました。1980年代までの研究では、主に「ストレスがうつの引き金になる」(「ストレス→うつ」)という仮説について実証的に検討されてきました。これに対して、Hammen (1991) は、「うつがストレスを引き起こす」(「うつ→ストレス」)という、これまでとは逆の因果関係を仮定し、実証しました。この仮説は **stress-generation model** (ストレス生成モデル) と呼ばれています。ストレス生成モデルは、ストレスとうつとの相互影響関係を仮定しており、主にうつの悪化や再発のモデルとして知られています。また、ストレス生成モデルの背景には、人は環境に対して積極的にはたらきかける存在であるという考え方があり、この考え方がストレス (環境) とうつ (人) との双方向的な影響関係の中に反映されています。

ストレス生成モデルの研究は、現在うつの心理学研究の中で大きなトピックとなっています。当初は、単に「うつ→ストレス」という関係が仮定され、ストレスの中でも対人ストレスが検討されてきましたが、研究が進むにつれ、うつの脆弱性要因 (認知、行動、パーソナリティ) がストレスを引き起こすこと、対人ストレス以外のストレスについても適用されること、うつ以外の病理 (不安など) にも適用されることなど、広がりを見せつつあります。筆者も、ストレス生成モデルの王道ではありませんが、関連する研究をおこなっています (Kuroda, 2016 など)。拙論ですが参考になれば幸いです。

#### 文献

Hammen, C. (1991). Generation of stress in the course of unipolar depression. *Journal of Abnormal Psychology*, 100, 555-561.

Kuroda, Y (2016). Dysfunctional attitudes lead to depressive symptoms by generating subjective stress. *Journal of Psychology*, 150, 358-370.

-----

日本健康心理学会広報委員会

<http://jahp-public.blogspot.jp/>

メールマガジンの配信停止、アドレス変更は下記アドレスまで

日本健康心理学会事務局 <[jahp-post@bunken.co.jp](mailto:jahp-post@bunken.co.jp)>

メールマガジンへのご意見・ご感想は下記アドレスまで

広報委員会 <[jahp-ML@bunken.co.jp](mailto:jahp-ML@bunken.co.jp)>

過去のメールマガジンは、こちらからご覧いただけます

<http://jahp.wdc.jp.com/health/health1.html>